

人権チェックリスト

平成30年
5月号

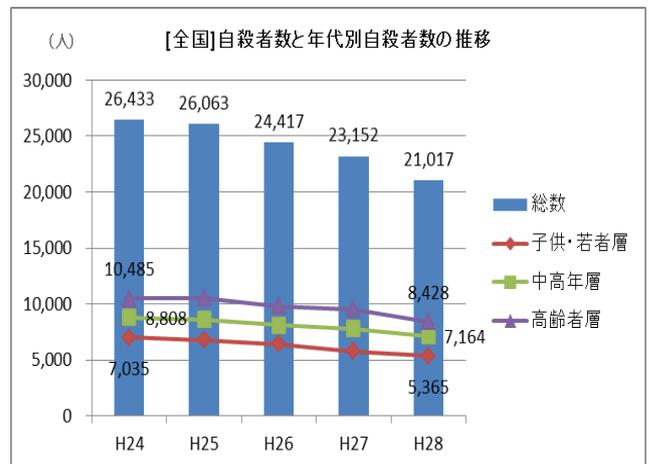
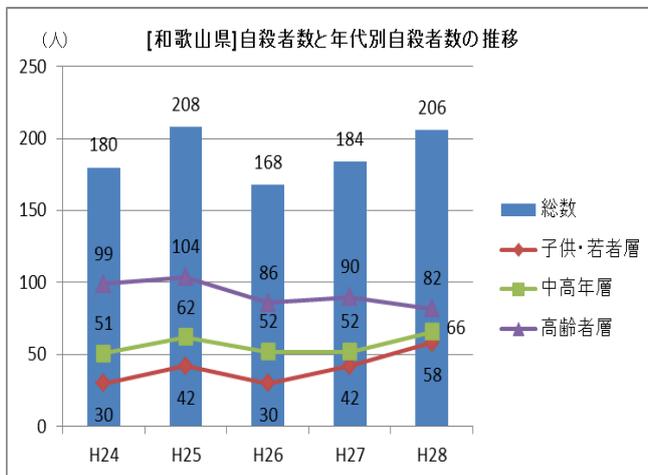


自殺を未然に防ぎましょう。

平成28年の全国の自殺者数は、21,017人であり、年々減少傾向となっています。和歌山県でも平成13年の317人をピークに減少傾向となっていますが、今もなお年間200人前後の方が自殺により命を落とすという深刻な状況が続いています。

平成28年の人口10万人当たりの自殺者数は、全国では16.8人に対し和歌山県では、21.7人と全国で4番目の高さとなりました。

また、年代別推移を見ると、全国では、すべての世代で減少しています。和歌山県においては高齢者層（60歳以上）の自殺者数は減少傾向にありますが、子供・若者層（～39歳まで）及び中高年層（40～59歳）で増加しています。特に、子供・若者層においては、平成26年以降増加傾向が続いており、2年間で約2倍に増加しています。



(注) 全国の「年齢不詳」394人分のデータを除いて比較しています。

(厚生労働省人口動態統計)

チェック

自殺の背景には、健康問題や家庭での問題、学校・職場での人間関係など、様々な問題が複雑に絡み合っています。そして、心身の不調をきたすなかで、精神的に追い込まれた結果、自殺に至っています。

家族や職場の同僚などの身近な人に、眠れない、食欲がない、口数が少なくなった等の「いつもと違う」様子が続く場合は、本人に心配していることを伝え、専門機関に相談するようにすすめてください。

一緒に考えてくれる人がいることは、悩んでいる人の孤立を防ぎ、安心を与えます。

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守ることが自殺の予防につながります。

●和歌山県自殺対策推進センター
相談専用電話「はあとライン」
電話：073-424-1700（平日午前9時から午後5時45分）

内容についてのお問い合わせは
和歌山県人権施策推進課まで
☎073-441-2566

